

会長挨拶

森林部門技術士会会長
根橋達三

1 50周年記念号について

森林部門技術士会は昭和46年創設以来、昨年度創立50周年を迎え、これを記念し昨年は創立50周年記念号を発刊いたしました。会員の皆様方100名以上からの数々の提言・抱負・技術活動等の投稿いただき50周年にふさわしい記念号になりましたことに対して感謝を申し上げます。

森林部門技術士会会員は時々の森林・林業の置かれた状況、技術的課題に対し真摯に取り組んできたところですが、これからも10年、20年先を見通しつつ森林・林業及び林産業の活性化、国土の復旧・復興、そして森林環境の保全に向け、森林部門の専門技術者として新たな課題に挑戦するとともに必要な提言を行って参りたいと考えています。

2 オンライン併用による講演活動の展開

昨年度は人類史上稀に見るパンデミックすなわち新型コロナの世界的な流行に明け暮れた年でありました。このような中、森林部門技術士会の活動において種々の制約が課せられ、特に多人数を集めての会場での講演会が実質できなくなりました。このため、少人数の会場参加者とオンライン参加者によるオンライン併用の講演会とならざるを得ませんでしたが、結果的にはオンラインにおいて多くの地方の方の出席を得てむしろ出席者総数としては従前よりもより多くの参加者を確保することが出来ました。

今後ますます技術者のCPD活動が要請される中であって、地方の会員の方々には中々技術研鑽を積むCPD講演会等が少ないという悩みがあったところですが、このコロナ禍を奇貨として森林部門技術士会のCPD講演会はオンライン併用を原則として地方の方々にもより便宜を図るような活動を展開してゆきたいと考えております。

3 フォレストコンサルの編集体制の充実・強化

年4回発行の会誌フォレストコンサルは会員の技術研鑽、情報交換の絆として長く親しまれておりますが、編集部会は正直いつも原稿不足に悩まされております。そこで今年度からは投稿者の発掘を促進するために編集部会委員に加え、会長を始めとした4役に各分野部会長にも入って貰い拡大編集委員会を立ち上げることにしました。主な任務は投稿者の発掘・掘り起こしですが、会員の皆様におかれては拡大編集委員会の委員からの原稿依頼を受けた場合には積極的に投稿して頂ければ幸いです。このような編集体制の充実を図りフォレストコンサル発行がスムーズに行われ情報誌としての洛陽の紙価を高めるように努力してゆく所存です。

4 会員 500 名の維持・拡大、情報発信の充実

本会の会員数は 10 年前の 400 名前半から、令和 2 年度末には、約 540 名となりました。同報メールについても会員の 9 割以上の方が受信して頂いておりますが、今後も引き続き会員拡大と会誌「フォレストコンサル」、ホームページ、メールでの情報発信の充実に努め会員との連携を密にして参りたいと考えております。

以上、簡単ですが、今後とも林野庁行政当局の厚いご支援と会員の皆様方の一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。 (令和 3 年 5 月記)